

～障がい者のアートは「いわての文化」になりえるか～

平成27年地域政策研究センター(地域提案型・前期) 採択課題

平成27年度地域政策研究センター(地域提案型・前期)

課題名 : 芸術活動を通じた障がい者の生きがいづくり
 —障がい者の社会参加を促進する公募展のあり方について—
研究代表者 : 社会福祉学部 准教授 佐藤匡仁
課題提案者 : いわて・きららアート協会 事務局 村井資
キーワード : 障がい者、芸術活動、支援の促進・阻害要因

▼研究の概要(背景・目標)

本研究は、いわて・きららアート協会事務局、村井資氏からの提案により、“芸術活動=非生産的な遊び”と認識されがちな障がい者の芸術活動支援について、福祉事業所及び特別支援学校を対象とした意識調査を行い、支援の阻害要因と促進要因を抽出し、得られた知見を公募展企画等の運営計画に改善点として反映させること、また、芸術活動支援の理解と促進に結びつけ、岩手県の障がい者芸術支援をいっそう盛んにする手立てを検討することが目的である。

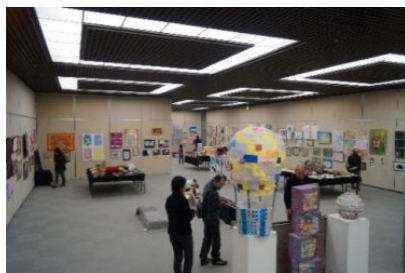


Figure 1 第19回いわて・きららアート・コレクションの様子

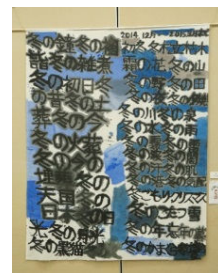


Figure 2 第19回大賞作品

▼研究の内容(方法・経過)

1. 岩手県内の福祉事業所及び特別支援学校を対象とする質問紙による悉皆調査

岩手県内全ての福祉事業所(292箇所)及び特別支援学校(16校)、計308箇所を対象に質問紙調査を実施した。調査結果から、障がい者の芸術活動支援についての理解・認識や課題について抽出するとともに、分析・検討を行った。

2. 特色ある改善に必要な方法について福祉事業所及び特別支援学校を対象とするヒアリング調査

取り組みの顕著な福祉事業所や特別支援学校、あるいは関心が示されない事業所や学校等を対象にヒアリング調査を実施し、質問紙で掬いきれないニーズについて分析・検討を行った。



Figure 3 静山園の制作者の入賞作品



Figure 4 ウィリーの制作者の出品作品



Figure 5 ハックの家の制作者の制作活動の様子



Figure 6 作品が製品化されたバック(ハックの家)

▼研究の成果(結論・考察)

1. 岩手県における福祉事業所・特別支援学校の87箇所(64.44%)は芸術活動支援に取り組む。絵70箇所(80.46%)、歌45箇所(51.72%)、書道39箇所(44.83%)と続く(Table1・2)。

2. 芸術活動支援のない48箇所(35.56%)のうち、取り組まない理由は、「生産活動が優先されるので、芸術活動にまで取り組む余裕がない」32箇所(66.67%)、「いずれやってみたくも思っているが取り組めずにいる」11箇所(22.92%)、「利用者・児童生徒に関心が見られないので、特に取り組んでいない」10箇所(20.83%)と続く(Table3)。

3. 芸術活動支援を始めるための条件として、「研修会で、制作支援によって利用者がどのように変化し、成果を得られたかを学びたい(事例)」45箇所(33.33%)、「地元で展示・発表の機会がたくさんあればよい」41箇所(30.37%)、「専門家が事業所に来て、支援の仕方を教えてほしい」35箇所(25.93%)と続く(Table4)。

4. 静山園、ハックの家、ウィリー等の事業所でヒアリングを行った。共通点として、制作者本人の表現自体を最大限尊重し、支援者はむしろ“魅せかた”の工夫を援助していることが示唆された(Figure3・4・5・6)。

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

1. 支援開始条件の上位項目には、協会がすでに取り組むものもあった。一つ一つの要望に対し、協会側が準備・提供可能かどうかを照応させて、公募展企画等の運営計画に反映させていく。

2. 調査にご協力いただいた岩手県内の福祉事業所・特別支援学校に、記して感謝の意を表す。

Table 1 芸術活動の有無

	箇所	%
はい	87	64.44
いいえ	48	35.56
		n=135

Table 2 取り組んでいる芸術活動

芸術活動	箇所	%
絵	70	80.46
歌	45	51.72
書道	39	44.83
楽器	26	29.89
ダンス	26	29.89
刺繍	24	27.59
木工	19	21.84
写真	17	19.54
陶芸	12	13.79
俳句	5	5.75
作詞	2	2.30
その他	24	27.59
		複数回答可 n=87

Table 3 芸術活動支援に取り組まない理由

理由	箇所	%
生産活動優先で余裕なし	32	66.67
いずれと思うが取り組めず	11	22.92
本人に関心がない	10	20.83
サークル等で行うこと	2	4.17
生きる上で必ずしも必要ない	2	4.17
長けた職員がいない	2	4.17
その他	11	22.92
		複数回答可 n=48

Table 4 芸術活動支援を始めるために必要な条件

条件	箇所	%
制作支援による利用者の変化・成果を知る	45	33.33
地元での展示・発表機会の増加	41	30.37
専門家の訪問による支援方法の教示	35	25.93
画材の選び方や額装の仕方など技術的なこと	28	20.74
作品制作の機会や場所の提供	25	18.52
制作支援のマニュアルやガイド	24	17.78
制作支援の相談窓口	23	17.04
商品製作・販路開拓など収益を上げる方法	20	14.82
都会や海外での展示・発表機会の増加	3	2.22
その他	9	6.67
		複数回答可 n=135